

# 御堂筋シンポジウム

2015 9月18日(金)

13:00~15:45 (開場12:30)

場所: ホテル日航大阪4F 孔雀の間

## 御堂筋の未来と エリアマネジメント

新橋交差点南東から梅田方面を望む

### 街づくりの未来をここから始めよう

- 主催(共催) : NPO 法人 御堂筋・長堀 21 世紀の会  
長堀・心斎橋タウンコミュニティ
- 協 賛 : (株)ホテル日航大阪、東急不動産(株)  
(株)大丸松坂屋百貨店、東西土地建物(株)
- 後 援 : 国土交通省近畿地方整備局、大阪府  
大阪市、大阪商工会議所  
大阪市立大学、京都大学経営管理大学院

#### 会場地図



#### プログラム

参加費無料

#### Part 1 : 基調講演 13:00~14:05

- 基調講演 「エリアマネジメントの現状と未来」  
小林重敬 (横浜国立大学名誉教授)
- 特別講演 「御堂筋の活性化と未来像」  
川田 均 (大阪市都市計画局長)

#### Part 2 : パネルディスカッション 14:15~15:45

- コーディネーター: 嘉名光市  
大阪市立大学大学院准教授
- パネラー : 御手洗 潤  
京都大学経営管理大学院特定教授  
川田 均  
大阪市都市計画局長  
御堂筋まちづくりネットワーク 代表幹事代行  
池永寛明 (大阪ガス(株)理事 近畿圏部長)
- ミナミまち育てネットワーク 街づくり委員  
西川孝彦 (南海電気鉄道(株)  
プロジェクト推進室 部長)
- NPO 法人御堂筋・長堀 21 世紀の会 理事  
忽那裕樹 ((株)E-DESIGN 代表取締役)





## 御堂筋シンポジウム開催趣旨

大阪の長期低落傾向が囁かれたして久しい。その傾向に歯止めが掛からぬばかりか、むしろ活性化は後退する一方で。そんな中、大阪活性化の起爆剤となりうるのは、御堂筋を最大限に活用することであると考えます。

御堂筋の機能、景観形成、並びに沿道のエリアマネジメントはどうあるべきかを考え、日本のモデルロード創造への道筋を創っていくため、学識経験者、行政、御堂筋沿道街づくり団体が一堂に会し、本シンポジウムを開催します。

## 基調講演と特別講演



小林 重敬 (こばやし しげのり)  
横浜国立大学名誉教授、大丸有エリアマネジメント協会理事長、森記念財団理事長、市街地再開発協会理事長

東京大学大学院工学研究科博士課程都市工学専攻修了。工学博士。横浜国立大学大学院教授、参議院国土交通委員会客員研究員などを歴任。横浜のMM21の開発、東京都都市ビジョンづくりなど都心部及び地方都市の中心市街地活性化に参画。著書：「エリアマネジメント」(学芸出版社)、「都市計画はどう変わるか」(同)、「最新エリアマネジメント」(同)など多数。



川田 均 (かわた ひとし)  
大阪市 都市計画局長

1982年、京都大学大学院土木工学専攻を修了し、大阪市に入庁(交通局)。大阪市計画調整局の都市計画課長・都市再生プロジェクト部長・計画部長、政策企画室の施策重点化担当部長を歴任。2012年に計画調整局・理事を経て、2014年より現職。

## パネルディスカッション



嘉名 光市 (かな こういち)  
大阪市立大学大学院 工学研究科  
都市系専攻 准教授

博士(工学)、一級建築士、技術士(都市及び地方計画)。1992年、東京工業大学工学部社会工学科卒。株式会社UFJ総合研究所(現・三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))主任研究員、大阪市立大学大学院講師を経て、2006年より現職。京阪神を中心に都心再生に取り組み、大阪府・市の特別参与、水都大阪パートナーズアドバイザーを務める。主な著作：「都市・まちづくり学入門」(学芸出版社)などがある。



御手洗 潤 (みたらい じゅん)  
京都大学経営管理大学院 特定教授

一橋大学法学部卒。東京大学公共政策大学院修了。博士(工学)。建設省、在シンガポール日本大使館一等書記官、内閣府統括官(防災担当)付企画官、国土交通省都市・地域整備局公園緑地課課長補佐、同省土地・水資源局土地政策課土地政策企画官、同省都市局都市計画課開発企画調査室長等を経て、2014年より現職。主な論文・著作：『最新エリアマネジメント』(小林重敬編著：学芸出版社)6章1節「国におけるこれまでの仕組みづくり」。

## 御堂筋沿道街づくり3団体

淀屋橋

本町

心斎橋

道頓堀

なんば

### 御堂筋まちづくりネットワーク

大阪ガス、竹中工務店ら 25 団体により 2001 年に設立。土佐堀通・博労町通間の御堂筋沿道街区を活動エリアとし、行政、経済団体と連携しながら、ビジネスエリアとしてのブランド価値の向上、美化緑化の推進、御堂筋ガイドラインに関する取り組み、将来に向けて BID、エリアマネジメントのあり方の検討など、「活力と風格あるビジネスエリア」創造に取り組んでいる。現在、会員数は活動エリアの不動産オーナー地権者 34 社、テナント会員 4 社の計 38 会員。

活動体制は 3 部会から成り、都市環境部会(会長・NTT 都市開発)、ガイドライン推進部会(会長・大阪ガス)、にぎわい創出部会(会長・積水ハウス)の各部会が活動を推進している。

### NPO 法人 御堂筋・長堀21世紀の会

1982年2月設立。当時地下鉄長堀鶴見緑地線誘致運動とそれに伴う長堀再開発の提言活動を目的に地元企業・商店で組織。企業集団による街づくり組織の草分けとされる。最初の街づくり提言は、1998年に、大阪市のご英断により総工費1500億円の「長堀通ジオフロント開発と地上景観整備」に結実。これにより当該エリアは、海外スーパーブランドの出店などにより大きな経済効果を上げ、新しい街づくりのモデルケースと言われた。

2002年からは御堂筋の活性化を提言。「車の道から人の道」をコンセプトにブラッシュアップし、御堂筋を日本のモデルロードとして世界に発信することを提言。その実現のために、産官学連携を呼び掛けている。現在、会員数は、御堂筋沿道及びその周辺企業・商店・個人など 112 会員。

### ミナミまち育てネットワーク

2008年12月に、「ミナミまちづくりフォーラム」と「ミナミ活性化委員会」が一つとなり「ミナミまち育てネットワーク」が発足。「観光集客」「文化振興」を活動の2本柱とし、ミナミにゆかりのある企業、商店会、行政や経済団体など 117 会員が在籍。事務局は会長企業の南海電鉄が担当。ミナミでは各商店会が活発に活動しているため、各々の活動を繋ぎ、地域全体として効果を上げるため、次の3つの方向性で活動を展開している。

- ① 難波駅前広場などの再整備等、賑わいと緑あふれる広場や通りづくり
- ② 歩いて楽しい街へ「ミナミの一斉清掃」「放置自転車の追放」の取り組み
- ③ エリア全体のプロモーションとしてジャズをテーマにしたイベントの開催。